

令和5年度から、専攻の区分「生物学系」の修得単位の審査の基準を改正します。改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、令和5年度4月期からとなりますので注意してください。

専攻の区分	専攻分野の名称
28 生物学系	理 学

生物学は動植物、微生物、細菌、ウイルスなどが示す生命現象を対象とし、生物学・化学・物理学・生物工学的手法を用いて、生理、代謝、遺伝、発生、進化といった基本的な現象を研究する基礎理学の学問領域である。生物学の学修により、生物科学全般を広く見渡せる学識を身につけることが望まれる。また実験・実習によって各種研究手法を学ぶことにより、講義で得られた知識の確認と定着を図ることも必須である。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位（62 単位以上）

専攻に係る授業科目の区分	専門科目（40 単位以上）	
	【A群（講義・演習科目）】（30 単位以上） ○生物学に関する総合的な科目 ○形態・系統・分類学に関する科目 ○生態・環境生物学に関する科目 ○生理・生化学に関する科目 ○遺伝・発生学に関する科目 ○細胞・分子生物学に関する科目 【B群（実験・実習科目）】（6 単位以上） ○生物学に関する実験・実習科目	左のA群の区分のうちから3区分以上にわたること
	関連科目（4 単位以上）	
	◇専攻分野「理学」の他の専攻の区分の専門科目 ◇応用生物科学に関する科目	

■ 専門科目の例 ■

【A群（講義・演習科目）】

- 生物学に関する総合的な科目
一般生物学（バイオサイエンスを含む）、生命倫理学など
- 形態・系統・分類学に関する科目
自然史学、形態学、組織学、解剖学、系統分類学、進化学、生物地理学など
- 生態・環境生物学に関する科目
生態学、環境生物学、動物行動学、生物社会学など
- 生理・生化学に関する科目
生理学、生化学、内分泌学、神経生物学、情報生物学、数理生物学など
- 遺伝・発生学に関する科目
遺伝学、集団遺伝学、発生生物学、放射線生物学など
- 細胞・分子生物学に関する科目
細胞生物学、分子生物学、ゲノム生物学、生物物理学、免疫学、微生物学、構造生物学など

【B群（実験・実習科目）】

- 生物学に関する実験・実習科目